

L P ガス C P 情報(2013年3月積み)

1. 3月積みサウジアラムコLPガスCP

プロパン 895^{ドル} (前月比 -15^{ドル})
 ブタン 895^{ドル} (前月比 -15^{ドル})

① LPガススポット市況

LPガススポット市場は、春節(旧正月)を前に東南アジア、中国等の堅調な需要と原油市況の高騰でスポットが上昇したが、旧正月入り後は、サウジのアクセプタンスをまっけた様子見。産ガス国の供給は潤沢で、需給にひっ迫感はなく軟化した。CP先物市況は、バックワーデーション(期先安)が続き、需要期明けの4月以降の軟化も必至か。一方、ナフサが原油高から中旬に1010~1028^{ドル}台まで上昇しナフサ高からブタンの石化需要見込みで一時的ブタン高となった。下旬にはナフサも970~980^{ドル}台に軟化、ブタン高も解消した。フレート市況はじり高で40^{ドル}台を回復、続伸している。

原油(A・L)熱量等価換算では前月に比べプロパン、ブタンともに5ポイント下落。前年同月比ではプロパン32、ブタン26ポイントそれぞれ低い。

	第1週	第2週	第3週	第4週	平均
フレート	39	40	42	44	41
CP先物指標:P	905	935	945	900	921
CP先物指標:B	905	935	945	900	921

② 原油市況等

原油市況をみると、2月のWTIは97^{ドル}、ドバイ110^{ドル}台でスタート、米国、欧州等、世界景気の回復期待、地政学的リスクの上昇を背景に高値で推移していたが、下旬には欧州債務危機懸念が再燃しドル高が進行、ファンダメンタルズも弱く反落した。米国の原油生産量は増加が続き、1992年以来の水準。全米在庫は高水準が続き、クッシングの在庫も5,000万バレル超の過去最高水準。なお、WTIの建玉(総取組高)は13日に166万枚の過去最高を更新、大口投機玉ネット買い越しは27万枚まで急増した。ドバイは109~113^{ドル}台、北海ブレントは112~118^{ドル}台のレンジで推移した。

○2月積みアラビアンライト(2月1~25日まで)は115.16^{ドル}(前月比+3.92^{ドル})

熱量等価AL100% プロパン944.20^{ドル/トン} ブタン931.25^{ドル/トン}
 AL比 プロパン94.79% ブタン96.11%

2. 2013年4月LPガス仕切(CPコスト変動分)への影響

適用期間	TTS	P:円建CP	B:円建CP	P前月比	B前月比
16~15日	94.43	84,515	84,515	500	500
21~20日	94.22	84,300	84,300	-300	-300
26~25日	93.42	83,600	83,600	-1,800	-1,800
1~31日	94.27	85,300	85,300	500	500

*TTS平均は2月27日まで、1~31日分はコスモ3月仕切に適用
 コスモは前月CP3分の2、当月CP3分の1の案分。

*アストモスエネルギーは1月仕切から前月・当月CP50%案分型に変更、
 詳細は(LPガス価格推移表等を参照)

なお、各社の仕切は、フレート分、バンカーサーチャージ等の改定もなされるため、CPコスト変動分と実際の仕切と異なるケースがあります。更に、為替レートの急変動等もあり、改定幅についてはご注意ください。